

「県西地域活性化プロジェクト（改定素案）」に係る提出意見及びこれに対する県の考え方

○意見募集期間 令和5年12月14日（木曜日）から令和6年1月12日（金曜日）まで

○意見内容の分類

区分	延べ 件数
1 県西地域活性化全般に関する意見	11件
2 柱1「住む」に関する意見	8件
3 柱2「働く・楽しむ」に関する意見	10件
4 柱3「育む・学ぶ」に関する意見	1件
5 柱4「つながる」に関する意見	6件
合計	36件

○意見の反映状況

区分	延べ 件数
A プロジェクト（改定案）に反映した意見	4件
B プロジェクト（改定素案）に既に反映している意見	20件
C 今後の取組みの参考とする意見	5件
D その他（質問・感想等）	7件
合計	36件

注意：「要約」については、原則として頂いた文言を記載しておりますが、一部字句の変更、表現の調整、表現の割愛等を行っているものがあります。

意見 番号	内容 分類	要約	反映 区分	県の考え方
1	1	これからの人口減少に向けて、このような戦略は必要です。	D	県西地域に人を呼び込むため、取組みを進めてまいります。
2	1	県西地域は魅力が溢れていると考えています。県が市町村と力をあわせてより積極的に取組みを進めて行くべきです。	B	市町と力を合わせて取組みを進めてまいります。
3	2	県西地域は海も山もある魅力的な地域です。確かに都心からは遠いですが、それを補って余りある豊かさがありますので、その魅力をしっかり配信し人口増につなげてほしい。	B	県西地域の魅力について、積極的に情報発信を行ってまいります。

意見番号	内容分類	要約	反映区分	県の考え方
4	1	<p>2022年に都内から小田原に移住し、神奈川県西エリアに魅了され、現在はTAKIBI-VISION（焚き火ビジョン）という活動をしています。</p> <p>自然、新鮮な食材、観光など、素晴らしい魅力の詰まったエリアだと感じています。そんな魅力を都内近郊で働く方々に伝えていきたいと思い活動しています。</p> <p>また、どの自治体でも共通している課題が人口減だと思います。都内と比べると職業の選択肢が少ないことも実感しています。</p> <p>そのことを踏まえ、下記のような活動を展開しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係・交流人口... 都内近郊で働く人々を誘致し、心身の健康を目的とした自然体験・焚き火体験活動 ・移住人口... 移住に興味のある方に移住者目線で県西エリアの魅力を伝える。移住誘致成功実績あり。 ・環境保全... 海や川のゴミ拾い活動、小田原の間伐材や廃木材を活用した焚き火 ・起業支援... ノウハウや実績を活かした起業の支援。 <p>県西地域活性化プロジェクト（改定素案）を拝読し、めざしている方向性がとてもリンクする部分が多いのではと感じました。</p> <p>官民がうまく連携する方法や相談窓口等はあるのでしょうか？官民が手を取り合いながら、この素晴らしい神奈川県西の魅力を伝えていけたら嬉しいです。</p>	C	<p>県西地域の魅力を伝える情報発信については、企業や団体とも連携しながら行ってまいります。</p>
5	3	<p>県西地域には世界的に知名度の高い観光資源である「箱根」を有しており、年間26百万人超（令和3年度）の観光客を受け入れています。これは神奈川県西の観光客数の23%程度を占める水準となっております。しかし、県西地域には「箱根」以外にも小田原城や大雄山最乗寺などの城郭及び寺社仏閣のみならず丹沢湖や夕日の滝など数多くの地域資源を有しているものの、各市町村に資源が点在しており、「行政の壁」に阻まれこれら地域資源を統合的に集客に繋がっていないのが現状と感じています。</p> <p>県西地域の活性化を図るためにも、世界的な知名度を有する「箱根」をマグネットとし、箱根を訪れた観光客または訪問を計画している潜在的観光客に対し、「オール県西」で地域内に点在する資源を統合的に活用し観光に繋げ、観光客の県西地域での滞在時間（＝観光動線）の長期化を検討すべきと考えます。</p> <p>そこで、県西地域をフィールドとし、アプリを活用した（デジタル）クイズラリーを実施することで、県西地域内での回遊を促し観光動線の延長やクイズ通じて県西地域の歴史・魅力を知ってもらうことを提案します。</p> <p>コロナ禍を経て、スマートフォンなどのツールの活用を比較的苦手としてきたシニア世代もこれらツールを扱うリテラシーが向上しており幅広い世代が参加可能となった考えられること、アプリを通じた運営とすることで時限的なイベントの実施や可変性を持たせ柔軟な運営を可能とすることができます。</p> <p>このように、県西地域に幅広く点在する地域資源を統合的に活用し観光動線の長期間を図ることは、地域内での消費拡大や関係人口の増加（地域の魅力の発信、移住者等による事業創出）による地域活性化が期待できます。これにより「県西地域活性化プロジェクト（改訂素案）令和5年11月」に掲げられている『7. 地域のオンリーワンの魅力の活用・発信（観光資源を活用したイベントの開催）』を推進できるのではないかと考えます。</p>	B	<p>地域の観光スポットや豊かな自然を楽しむことのできる謎解き型の宝探しなど、地域の観光資源を活用したイベントを行ってまいります。</p>

意見番号	内容分類	要約	反映区分	県の考え方
6	1	<p>プロジェクトの改訂お疲れさまです。以下、感想です。</p> <p>○3年ごとにプロジェクトを改訂しないといけないのは大変ですね。改訂することが目的にならないと良いなと思いました。</p> <p>○第2期プロジェクトが掲げた「贅沢なくらし」と第3期プロジェクトが掲げる「心地よくらし」という言葉から受ける印象やそれぞれのくらしを求める人に乖離があるように思えます。贅沢なくらしという響きからは、お金持ちやハイスベックな暮らしを望む社長のような人、成金のような人、パリピをイメージし、心地よくらしという響きからは、無理をしないでそこにある自然を愛でる、都会の喧騒を嫌がり、のどかな落ち着いた暮らし（人との繋がりよりは自然との繋がりを好む人）を望んでいるような人をイメージしました。プロジェクトの改訂で呼び込む人のメインターゲットを180度方向転換したような印象を受け、少し違和感がありました。</p> <p>○県西地域の特徴やプロジェクト全体を読んで、P6の「県西地域の多彩な地域資源」の図の「芸術」と「ゆとりある生活空間」がこの地域にあるものなのかがよくわかりませんでした。</p> <p>○令和3年には県西地域全体の人口において、転入数が転出数を上回る社会増という記述がありますが、令和4年や令和5年も転入数が上回っているのが気になりました。第2期の2023年の目標値が+500人だったので、第2期の目標値を達成したうえで、第3期プロジェクトは、そこから更に+500人を目指しているのでしょうか。つまり、2019年から2026年の7年の社会増減数が累計・暦年で1,000人増やすことが目標値ですか？</p> <p>○第2期のプロジェクトでは、P6に県西地域の転入超過数が年代別で掲載され、若年層や子育て総の転出超過を問題視されていたりしましたが、第3期プロジェクトでは個別の市町の転出超過を問題視しているように見えます。年齢は関係なく、地域全体で社会増になればよいという考え方になったということでしょうか？</p> <p>○柱2の「働く・楽しむ」で「働く」と「楽しむ」が中身はあまり変わっていないのに一緒に柱にされているのがおもしろいなと思いました。</p> <p>県西地域のためにがんばってください。</p>	D	<p>プロジェクトのめざすがたについて、第2期プロジェクトでは、県西地域で暮らすことで、未病を改善しながら、生き生きと住み、働き、楽しみ、育み、学び、いのちを輝かせる「贅沢なくらし」を送ることができるという意味で、贅沢という言葉も、金銭的・物質的な豊かさではなく、心の豊かさという意味で使っております。その意味では、改定後の「心地よくらし」は、方向性が大きく変わるものではありません。</p> <p>また、県西地域の多彩な地域資源について、県西地域では、箱根町を中心に、多くの美術館が存在しているほか、広々とした土地があるため、「芸術」や「ゆとりある生活空間」という記載をしております。</p> <p>さらに、県西地域の社会増減について、改定後のプロジェクトの7ページに記載のとおり、令和4～5年はともに社会増となっております。第2期プロジェクトの目標値は、2019年の社会増減（△449人）を基準として設定したものですので、改定後のプロジェクトの目標値（累計）とは異なります。</p> <p>最後に、プロジェクトの対象とする年代について、若年層や子育て層を引き続き中心としつつ、幅広い層を対象に取組みを行ってまいります。</p>
7	5	<p>私は中井町にすんでいます。</p> <p>一定数 中井町を通過して鎌倉から山北町へ 朝市やカフェ経営に通う人たちがいます。それは利用者も同じ流れだと思います。</p> <p>ナビではそう案内しないかもしれません。</p> <p>松田町につくと、小田急線の踏み切りで渋滞です。</p> <p>中井町からうまく抜けられない場所は小田原も同じです</p> <p>秦野中井インターから 西湘バイパスにのるのに、橋に向かう人と国府津に向かう人が相当数います。 通勤で小田原から平塚に行くひともいます。</p> <p>二宮インターから小田厚にのるひともおますが、それぞれどん詰まりになってます。</p> <p>このながれとナビで回り道として案内して湘南方面の人を、またはそのようなルートを開発というか認知してもらおうことだと思います。</p> <p>中井パーキングスマートインターが何故ないのか。。。。</p> <p>小田原厚木道路ではなく、東名でのんびり田舎道をドライブしながら。。、という開発を周知活動していくのはどうでしょう。そうすれば大井町 四季の郷なんかも都市部や湘南方面のひとに周知できるとおもいます。</p> <p>ほとんどの人が近いのに知らない。まったく知られていない。</p> <p>そこから東名新秦野インターとも行き来ができ、渋滞回避にも使えるように何とかできないものかと思っています。</p> <p>我田引水ではなく、公益性が高いと思います。</p>	C	<p>いただいたご意見につきましては、今後、周遊促進を図っていく上で参考とさせていただきます。</p>

意見番号	内容分類	要約	反映区分	県の考え方
8	1	小田原市に住んでいます。以前住んでいた都内と比較して、生活のリズムがゆったりとしてとても気に入っています。便利さだけを追求せず、その土地の良さを生かして地域を盛り上げてください。	B	地域の特色を生かして、取組みを進めてまいります。
9	1	『県西地域活性化プロジェクト』はページ数が多すぎなくて見やすいのが良かったです。ビオトピアに行ってみたいですが、住まいが横浜市内のため遠くに行くのが残念です。これからも頑張ってください。	D	次期県西地域活性化プロジェクトも、コンパクトで見やすいものに改定してまいります。
10	2	移住施策をさらに促進していくとのことだが、まずは神奈川県西に何市があるのかまったく知られていないと思う。認知度向上をしていくべきだと思います。	B	県西地域のことや県西地域の魅力について、積極的に情報発信を行ってまいります。
11	3	外国人観光客が増えているが、果たして箱根に行って満足しているのだろうか。他にたくさんある観光資源を外国人に案内してほしい。箱根の温泉だけで満足してもらえないとは思えない。	B	外国人観光客の誘致のため、観光レップを活用した積極的なプロモーションを行うとともに、SNS等を活用し、多様なニーズに応じたきめ細かな観光情報を発信してまいります。
12	3	記載の取組に具体性が無く、意見を出しづらく感じました。例えば、海業の促進、企業立地の促進とありますが、どこでどんなことをやるのか具体的に分からないので、意見しようがないです。我々住民に分かりやすい文言でプロジェクトを作ってください。	A	ご意見の趣旨については、「8 プロジェクト」の「5 地域の魅力を生かした仕事の創出」及び「6 くらしを支える仕事と産業の基盤づくり」に反映しました。
13	2	これから東京以外はどこも人口減少が進むと思います。そんな中、神奈川県、千葉県、埼玉県は、東京に住みたくても住めない人達の受け皿となれると思います。神奈川県に住みたくするような政策を考えていただければと思います。	B	県西地域に住みたくするように、移住・定住の更なる促進に取り組んでまいります。
14	1	これから3年間で社会増減数をプラス500人にすることを「指標」としてますが、社会増減自体が何なのか知りませんでした。ネットで検索してしまいました。それと、500人が多いのか少ないのかもすぐ分かりませんでした。これらの用語解説を加えたり、設定の根拠を示していただけるととてもわかりやすい計画にならと思います。	A	ご意見の趣旨については、「6 (5) プロジェクトの指標」に反映しました。なお、改定素案では過去4年間の社会増減数の平均（1年あたり+157.5人）を上回ることを目指し、3年間累計で+500人と設定していましたが、その後公表された2023年の数値も踏まえ、過去5年間の社会増減数の平均（1年あたり+214.2人）を上回ることを目指し、3年間累計で+650人と設定しました。
15	1	県西地域の中で知られているのは小田原、箱根くらいでしょうか？あとは駅名とかで聞いたことがあるかも程度で、神奈川県はどこにあるかも分かりません。そんな地域を活性化するってとても難しいと思いますが、県だからこそできる支援を粘り強くして行ってください。	B	広域自治体である県として、市町や企業などと連携しながら、県西地域の活性化に取り組んでまいります。

意見番号	内容分類	要約	反映区分	県の考え方
16	3	<p>デジタル化が進み、さらに加速が続く現代社会において、人間の基本的な健康で文化的な生活を営む上で、体を動かし、手仕事を積極的にやり、自然や芸術、文化に触れることが、求められていくことになると思います。</p> <p>テレワークなどで精神的なストレスを抱えて、体を動かさないような生活こそ、県西の自然豊かで文化的な生活が、見直されて求められていくと思うのです。</p> <p>農業、伝統文化のワークショップ、自然と文化にちなんだ地域のイベント情報が、一括して見られるようなサイトがあれば日々更新されて新鮮味があり、イベントが開催される地域を訪問してみようという意欲を掻き立て、訪問する回数も増え、さらに移住や定住に結びつく可能性があると思います。</p> <p>イベント情報は、開催者自身が気軽に投稿できるような仕組みにすれば、情報も増えて活性化します。</p> <p>情報サイトは、各自治体の観光協会などがすでに公開していますが、情報が断片的になり、見にくく、動きがあまりないために新鮮味がなく、その地域を訪れてみたいという動機にはなかなか至らず、勿体無いな、と感じています。</p> <p>是非、総合的で魅力のある情報サイトを作って、更なる魅力を伝えて欲しいと願っています。</p> <p>arigatou.air.t@gmail.com</p>	B	<p>県では、県ホームページの「いいかも『かながわ県西エリア』～住む・遊ぶ～」のページにおいて、県西地域のおすすめスポットやイベント情報などを掲載しております。</p> <p>また、神奈川の多彩な観光の魅力を情報発信するため、地域と連携した特集記事などの県内全域の観光情報を「観光かながわNOW」で発信しています。</p> <p>(参考)</p> <p>いいかも『かながわ県西エリア』～住む・遊ぶ～ https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y2w/kenseipj/index.html 観光かながわNOW https://www.kanagawa-kankou.or.jp/</p>
17	2	<p>脱炭素、環境を意識した活性化策を検討してください。広くて自然豊かな県西地域ではいろんなことができると思います。よろしくお願いします。</p>	B	<p>再生可能エネルギーの導入・利用促進や省エネルギー対策の推進、脱炭素ライフスタイルへの転換の促進などに取り組んでまいります。</p>
18	5	<p>柱4のつながるを重点的に推進してください。特に、地域公共交通の確保は大事だと思います。</p>	B	<p>プロジェクトに掲げた各取組みの実施により、移動の利便性向上を図るとともに、周遊を促進し、地域間のつながりを強化してまいります。</p>
19	2	<p>移住を推進するためには、地域の魅力をアピールするのほうがいいのですが、シンプルに、住む上で不便でないことをアピールした方が効果的だと思います。</p>	C	<p>県西地域の魅力について情報発信を行う際、地域の利便性のアピールも含め、様々な観点から内容を検討の上、発信を行ってまいります。</p>
20	3	<p>海業の推進は、具体的にどこで何をやるのでしょうか。プロジェクトではもう少し具体策を示してください。</p>	A	<p>ご意見の趣旨については、「8 プロジェクト」の「5 地域の魅力を生かした仕事の創出」に反映しました。</p>

意見番号	内容分類	要約	反映区分	県の考え方
21	2	未病改善の推進と言いますが、健康増進、健康長寿、フレイルと同じだと思います。市町村の健康増進事業を粛々と進めればいいのではないかと。	C	県では、心身の状態を健康と病気の二分論の概念で捉えるのではなく、「健康」と「病気」の間を連続的に変化するものとして捉え、この全ての変化の過程を表す概念を「未病」としています。県では、健康増進施策やフレイル対策を、未病改善の取組に据えて展開していくとともに、健康を「自分ごと」として捉え、主体的に未病改善を行っていく環境づくりを進める観点から、市町の健康増進事業とも連携しながら、心身の状態を見える化する「未病指標」の利活用や健全な未病産業の創出・育成などに引き続き努めてまいります。
22	5	バスの減便や高齢化で地域の交流が少なくなっているようで、観光客を増やしたり、若い人を地域に呼び込んだり、地域の人が交流できる機会を作ったりすることが必要だと感じています。今回のプロジェクトで、「つながり」という点がキーワードになったことは、とてもいいと思います。	D	「かながわ県西での”心地よい”暮らし〜つながり×未病改善のライフスタイル」をめざすがたとして、地域資源を活用した交流などに取り組んでまいります。
23	4	東京都に隣接しており、横浜や川崎などの大都市を持つ神奈川県で、自然があふれている県西地域は、仕事をそのままに、休日は自然の中過ごすことができるため、とても気に入っています。活性化させることは大事だと思いますが、一方で人が増えすぎることによって静かな県西地域の良さがなくなってしまうのではないかと不安もあります。外から人を持ってこることも大事だとは、思いますが、現在住んでいる人のことも思いやる取り組みを進めていただければと思います。都会に住む子育て世帯の中でも、「子供は自然のあるところで育てたい」と思っている人も多いと思いますので、子育ての取り組みを進めていくことも、少子化の今大事なことではないでしょうか。	B	子育て世帯への支援や安心して子育てができる施設の整備などに取り組んでまいります。
24	5	バスの便数が減ってきていると感じている。今後、車を持たない高齢者の移動の手段を確保していく必要があると思う。バスの運転手が足りないという話も聞くので、市内を周遊する自動運転バスの運行などを検討してくれると助かります。	B	自動運転バスについては、今後、導入可能性調査を行ってまいります。
25	5	アクセスが不便なため、観光に行くことがためらわれます。街だと、シェア型の電動キックボードが手軽に借りられるので、県西地域の駅や観光地に設置すれば、みんな手軽に周遊できるのではないかと思います。	B	小型電気自動車や電動キックボード等の、いわゆる「脱炭素モビリティ」の地域への導入に対する支援を行ってまいります。
26	3	コロナにより交流人口は減ったと思う。まだ完全には戻ってないと思う。まずは観光客を呼び込み、県西地域の認知度を上げてください。地域の活性化につながると思います。	B	地域の観光資源の磨き上げやイベントでの活用を行うとともに、そうした様々な観光に関する魅力的な情報を発信することにより、地域に人を呼び込んでまいります。

意見番号	内容分類	要約	反映区分	県の考え方
27	3	コロナも収束して箱根などの観光地には外国人観光客もたくさん戻ってきているが、ホテルの従業員やタクシーの運転手が不足しているようだ。急激な観光客の戻りにオーバーツーリズムの弊害も心配だ。観光は地元の重要な産業であるので、そうした課題にも対応してほしい。	C	観光業の人手不足については、観光事業者の状況を丁寧に伺いながら、地域の実情に応じた支援方法を引き続き検討してまいります。また、観光業を含め、人手不足業種の県内企業と求職者のマッチングの機会の提供により、人手不足業種の企業の人材確保を支援してまいります。オーバーツーリズムについては、地域により実情や要因が異なることから、それぞれの地域の状況を丁寧に把握し、県として、広域的な観点から対策を検討してまいります。
28	3	ニュースを見ていたら外国人観光客が瀬戸屋敷を次々に訪れ、その場で料理などを体験して楽しんでいた。こうした外国人観光客に響きそうな体験ができる場所は他にもあると思うので、そうしたところに外国人観光客を呼び込めばよいのではないかと。	B	外国人観光客の誘致のため、観光レップを活用した積極的なプロモーションを行うとともに、SNS等を活用し、多様なニーズに応じたきめ細かな観光情報を発信してまいります。
29	1	県は市町村をサポート、支援する立場。計画には、市町村の事業をちゃんと載せてあげてください。	B	プロジェクトには、市町の取組みも多く掲載しております。
30	2	高齢化に伴い、空き家が増えてます。そのうち大問題になると思いますので、今から空き家対策を進めてください。空き家ばかりの街には住みたくありません。	B	空き家の実態調査や空き家バンクへの登録促進等を行い、移住の受け皿として活用してまいります。また、県では移住に関して、空き家の利活用など、市町それぞれの課題に対し、専門的な見地から適切にアドバイスが行えるよう、民間の専門人材を市町に派遣してまいります。
31	3	南足柄市で長い間操業していたアサヒビールの工場が今年1月に閉鎖した。遠方からも人を呼んでいた施設がなくなり、市の税収や地域の賑わいが減ってしまうことが不安である。	D	南足柄市が取り組む足柄産業集積ビレッジ構想など、県西地域への企業誘致施策により地域の活性化に取り組んでまいります。
32	1	真鶴町で町長を巡ってドタバタしていたが、ようやく町長も代わって落ち着き始めた。新しい町長は町外からの人間だが、しがらみのない強みを生かして町の活性化に取り組んでほしい。	D	真鶴町をはじめ、各市町の魅力を生かして、県西地域の活性化に取り組んでまいります。
33	3	足柄上郡、下郡は、箱根や小田原だけでなく他にも素晴らしいところが多いので、たくさんの人に訪れてもらいたいと思います。まだまだ、良さを知られていないので、県内だけでなく、県外の人にもプロモーションしてもらいたい。素晴らしいところだとみんなに思ってもらえれば、地域にとっても誇りになると思います。	B	県西地域の魅力について、県内外に対して、積極的に情報発信を行ってまいります。
34	2	県西地域は、ゆったりと健康的に暮らせる場なので、未病をいやすには最適な場所だと思います。	D	「未病の戦略的エリア」である地域の強みを生かして、活性化に取り組んでまいります。

意見 番号	内容 分類	要約	反映 区分	県の考え方
35	5	コロナ禍においては3密を避けられるということもあってサイクリングがブームになったと聞いている。実際、神奈川県西部には山や海などきれいな景色を楽しめるサイクリングに適した場所がたくさんあるし、週末にはたくさんのサイクリストを見かける。そうした強みを生かして自転車愛好家をターゲットにして活性化に取り組んだらよいのではないか。	B	企業と連携して作成したサイクリングのルートマップのアプリ、ウェブサイト、紙媒体の掲載情報を更新し、情報発信を行うとともに、様々な団体と連携しながら活用を促進することにより、サイクルツーリズムを更に推進し、県西地域の活性化につなげてまいります。
36	1	プロジェクト改定素案を拝見し、県西地域は魅力にあふれた地域であると書いてありますが、文字ばかりの冊子なので、もっと写真が載っているとその魅力が伝わると思いました。冊子にも書いてあるとおり、県西地域には、豊かな自然や食材、歴史・文化、温泉などたくさんの魅力があります。	A	ご意見の趣旨については、「4 県西地域の特徴」に反映しました。